



夏祭りを開催しました！ ～飛鳥ともしび苑～

今年も夏祭りを開催し、皆さまに楽しい時間を過ごしていただきました！連日の暑さに心も疲れておられた利用者様も多いと思いますが、笑顔と笑い声に包まれ、心和む時間になったのではないかと思います！あっという間でしたが、素敵な夏の思い出となりました♪



生活支援ハウス



夏祭りの定番であり王道のかき氷でクールダウン☆

デイサービスセンター



職員とご友人によるフラダンスの披露！フラダンスならではの優雅で柔らかいダンスに皆さま惹き込まれておられました♪



ビンゴゲームの景品と共に♪普段自分では買わないものに巡り合うのが景品の楽しさですね(^^)



厚紙で作ったタコを慎重に釣りあげ、得点を競うゲームです！なかなか難しく、苦戦されながらも盛り上がりました！

グループホーム



思い思いに残暑見舞いのハガキを作成され、ご家族やご友人にお送りしました！



沢山の方に楽しんでいただいた夏祭り。職員も楽しい時間を過ごさせていただきました！皆さまありがとうございました！



職員インタビューコーナー

福祉の世界に入ったきっかけ

高校卒業後は就職希望でしたが、親に進学を強く勧められ自宅近くの福祉の専門学校に入学したことがきっかけです。いざ入学して、一から福祉を学ぶうちに介護技術は勿論のこと、自分の知らない介護の世界をたくさん知ることができました。入学当時は「杖」といえば松葉杖のイメージくらいしかなく、歩行を補助するものと思っていましたが、杖の役割が「右が悪いから左に杖を持つ」という事を知り、痛みや筋力低下のある足への負担を軽減するものだとは学んだ時は面白みを感じた事を覚えています。その後も充実した学生生活を送り、2年生の時に最後に行った実習先の従来型特養にご縁があって新卒で入職し、異業種への転職を経て令和8年4月から飛鳥ともしび苑デイサービスセンターに入職しました。

実際に福祉の仕事に就いて

社会人としてもスタートしたばかりで、自分から何をして良いかわからなかったです。先輩からオムツ交換を教わり「やってみて」と言われても一度見ただけでは自信がなく、動き方もわからずうろたえてしまう事もありました。入職後半年くらいで一通り覚えて夜勤も任せられるようになりましたが、不規則な勤務体系が体に合わず睡眠リズムを崩してしまい、1年と少しで退職しました。体調を考え、日勤業務だけの清掃業に転職したのですが、そこで高齢者施設のワックス掛けをする機会があり清掃中のエリアに施設の利用者様が入ろうとされたところ、上手にエリア外に促すことができた時に「まだできるやん」と一度は離れた介護を思い出し、再び介護の仕事に戻るきっかけになりました。

印象に残っていること

ある入居者様に「旅行に行くんです」という話をしたところ、3万円をくださるという事がありました。当然受け取ることはできませんので強くお断りしましたが、断固として受け入れていただけて上司に相談し、上司から丁寧にお返しました。心から親しみを持ってくださいたいお気持ちは有難いながらも境界線や距離感の揺らぎを考える良い学びの機会になりました。

大切にしていること

利用者様に対する言葉遣いです。こちらは介護をさせていただく立場であり、利用者様とはフェアな立場ではありません。友達口調で話すとその境界線が曖昧になってしまうのではないかと考えていますので、きちんと線を引いています。いつも敬語で接する事で自分の気も引き締まりますし、今後も意識していきたいと思っています。



飛鳥ともしび苑 デイサービスセンター介護職員 岩崎 雅史さん

休日の過ごし方、ストレス対処

休日は、予定がなければ自宅でゲームをしてリラックスして過ごしていますが、ゲームの展示会や、興味があるイベントがあれば足を運んで楽しんでいます。年に1回旅行をするのですが、直近では石川県に行き、人生初の生牡蠣を食べて来ました。ストレス対処については、仕事中はモヤモヤすることがあってもタイムカードを押した後は切り替えて公私のメリハリをつけています。何となくスッキリしない時は、食べたいもの食べる、爆食する、ゲームに没頭する事でうまく解消できていると思います。

未来の自分

この先も、日勤帯で安定して働けるデイサービスセンターで利用者様と向き合って日々励んでいきたいと思っています。その為にレクリエーションで上手に場を盛り上げるテクニックを身に付けていきたいと思っており、場の温め方や注目の引き方、スムーズに参加を促すコツを先輩の姿から吸収しているところです。